

## 学徒合同石碑の建立に関する決議

さきの大戦では、男子校11校、女子校9校及び共学校1校の計21校の生徒たち2千数百人が戦争に学徒動員され、約半分に当たる千人余のとうとい命が失われた。戦後70年経過したが、この現実を知るにはいろいろな資料をひもとかなければならず、この学校数を把握している県民も少ないと考える。また、県外から訪れる参拝の方々は、ほとんどこの実情を知らずに聞き覚えのある慰霊碑を参拝して回っていると思われる。

このような実態の中、本県議会は、我が国において唯一住民を巻き込んだ激しい地上戦が繰り広げられた沖縄戦で、10代の若いとうとい命が戦場に動員され亡くなっていった事実を後世に伝え、二度とそのような悲劇が起きないように学徒動員された21校の校名が銘記された合同石碑の建立を強く要請する。

平成27年12月18日

沖 縄 県 議 会

沖縄県知事 宛て